心がかよう住まいづくり
オーダー・プランニング・システム
ヨシモトホーム

きめ細かな住まいづくりは

私たちの誇りです。

お建てする住宅の数は決して多くありません。
でも、一棟一棟に大きな自信があります。

ヨシモトホームはご注文をお受けするのが1都3県のみ。お建てできる住宅の数にも限りがあります。こぢんまりとした会社ですが、よい家を建てようとする心構えと実行力だけは、どこにもひけをとりません。ひと頃住宅メーカーが量産を競い合ったときにも、ヨシモトホームは決してマイペースを崩しませんでした。建築棟数をふやせば、そのぶん一棟一棟にかける時間も人の力も希薄にならざるをえません。当然無理も生じます。住まいというものは、いくら生産技術が進んでも、究極的には人間の手で土地に根を下ろし成長していくもの。自動車や電化製品とは、生まれながらにして性格を異にします。需要があるからといって無制限に生産していいはずがないし、いくら性能がすぐれているからといって型にはまった商品を押しつけていいものでもないはずです。住まいづくりにとって重要なのは「量」の多さではなく、あくまでも「質」の確かさです。ヨシモトホームの目標は、20年先、30年先にもご満足のいく住まいを造ること。お住まいになる方それぞれの環境、暮らしのあり方を細大もらさず汲み取って、一棟一棟に的確に表現出来てこそ、はじめて高品質と呼べるのだと思います。そのためにはあらゆる努力を惜しみません。ヨシモトホームはこれからも、数多くの住宅メーカーの中にあって、大きくはないけれどキラッと光る存在でありたいと願っています。

住まいづくりのポイント 1

よい相談相手

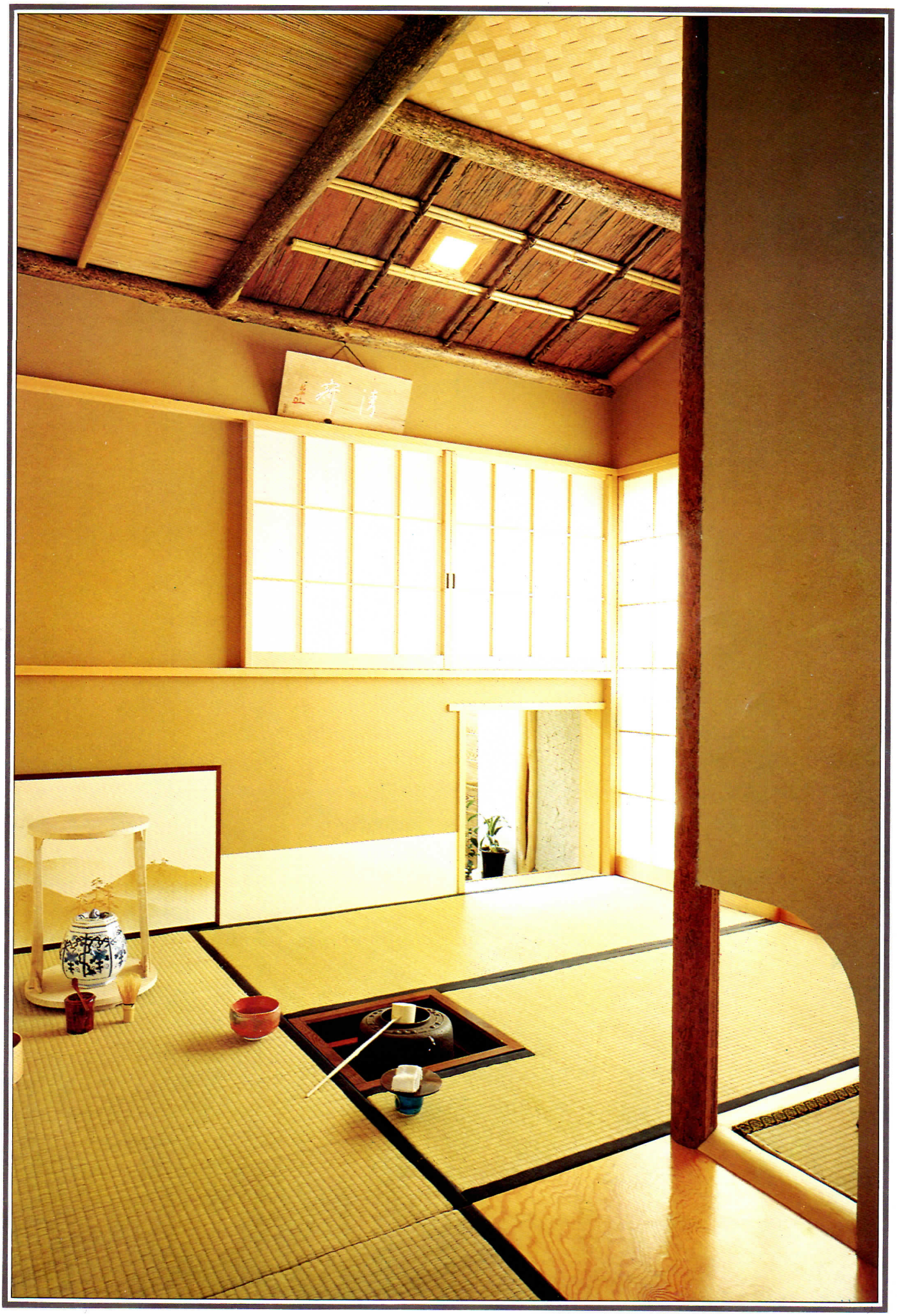
“なによりも心と心の結びつきが大切。家づくりはお客さまとの共同事業ですからね……”

最近のお客さまは非常に熱心で、よく勉強しておられますね。住まいづくりは耐久消費財のように買換えがきかないものですから、事前にいくら検討してもし過ぎることはありません。ただ最近は住宅に関する情報があまりにも氾らんしているので、お客さま自身がそれに振り廻されているといった傾向が無きにしもあらず。私としては、お客さまが持っていらっしゃるさまざまな知識を整理し、はっきりと“出来ることと出来ないこと”の区別を申しあげるようにしています。売らんがための安請け合いほど、無責任なものはないでしょう。住宅づくりはお客さまも参加した共同事業なんですから、お客さまのご理解が第一。押しつけは絶対にいけません。

家を建てるということは、別の見方をすれば安心を買うことでもあるので、不安な気持が少しでもあるうちは止めたほうがいい、と思います。住まいづくりの方法がどんなに形を変えても、お互いの信頼関係無くしては、決してよい家は建たないからです。私の場合、全面的にご理解いただくまでには平均して3カ月。その間にはすでにお住まいになっているご家庭、建築中の現場と、あらゆる角度から当社のありのままの姿を見ていただきます。もちろん私自身の人間性も問われるわけですから、つねにご期待に応え得るよう、広い知識や情報を身につけると同時に、自分自身を磨くことを怠らないよう努力しています。よい家を建てるコツは、交わされる会話の量が多ければ多いほど、内容が深ければ深いほどいいのです。どうぞ何なりと気軽にお話しください。私どもは誠意をもってご期待に応えます。

●資金づくりのご相談も、私たちホームコンサルタントにおまかせください。

少しでもご負担を軽く、どなたにもマイホームの夢を実現していただくために、資金面でもお手伝いいたします。有利な住宅金融公庫の融資をはじめ、他の公的資金の運用や併用、また最高2,000万円、最長20年返済の提携ローンなど、幅広くご活用いただけるよう内容を充実させてあります。どうぞご利用ください。



住まいづくりのポイント

2

機能的な設計

“本当に住みやすい家をプランするには暮らしぶりや土地柄まで考慮に入れるべきです。”

プランニングというと、とかく間取りをどうするかとか、広さをどうするかといった問題に終始しがちです。私が最初にお客さまに申しあげるのは、「どういう生活をするのか」という考え方を、まずしっかりと把握していただきたいこと。つまり、もっとも暮らしやすい住まいというのは、住む方の生活のカタチに合っている住宅なんです。職業によっても、家族構成、趣味、嗜好…などによっても、生活のパターンは全部異なるはずです。そしてそれを一番よくご存知なのは、お客さまご自身です。もう一つ忘れてはならないのは、周囲の環境や街並みとの調和です。ひと口に首都圏といっても、その土地その土地によって固有の土地柄があるし、外観の美しさも、周囲とよくマッチした時一段と映えるものなのです。これからの住まいづくりは、自分の家さえよければいいっていうのではなく、コミュニティーとの調和の中で考えるべきではないでしょうか。そのためには私をはじめ、コンサルタント、現場施工者、みんなが一体となって、事前に徹底的な検討を重ねてからプランニングを練り上げていきます。

ここでヨシモトホームの技術的な特長をお話しましょう。ヨシモトホームは注文建築であり「オーダープランニング住宅」です。在来工法につきものの品質のバラつき、工期の遅延、部材の確保…など、大工さんの腕とカンに頼っていた部分を、近代設備の整った工場で生産、管理し、あとの造作工事にたっぷりと時間をとる独自のやり方です。構造も軸組み工法とパネル工法を併用した二重構造ですから、間取りや外観はお好みどおりで、しかも堅牢で安全な住まいが建てられます。家を建てる場合、街の大工さんが造る木造住宅がいいのか、工場生産によるプレハブ住宅がいいのか、どなたも一度は迷われるはず。街の大工さんは小回りがきくけど、総合的な技術力が心配。プレハブ住宅は品質のバラつきは少ないけれどプランに制約がある。こんなご心配も、両方の長所だけを併わせ持っているヨシモトホームなら、万事うまくいくと自信をもってお答えできますね。

●町田市　T邸

1階床面積　103.52㎡
2階床面積　57.14㎡
延　面　積　160.66㎡

住まいづくりのポイント

3

厳格な品質管理

“木造住宅の味わいを全面的にうけついで しかも在来工法の短所を一掃しました。”

構造設計がいくらすぐれていても、使われる材料が粗悪なら何もなりません。実際構造材の強度や精度は、使用する材木の品質管理によって大きな差が出るものです。木材は生きています。愛情をもって接しなければ、よじれたりねじれたりして相手を手こずらせるものなんですよ。だから木材を扱うものは、まず各材質それぞれの性格を十二分に知りつくしているのはもちろん、いたわりの心を決して忘れてはなりません。いままで木材は虫害、腐食などの心配をいわれてきましたが、いまでは厳しい検査基準のもと、完全な防虫、防蟻、防腐処理を施しているので、耐用年数も飛躍的に増してきており、丈夫でまったく安心です。

工場生産のメリットはいろいろありますが、第一に挙げられるのは品質の均一性と安定性。現在使用している機械は、なんと 0.1㎜もの精度が出せるほど正確です。これを人間の手でやったとしたら、時間と金額がどれくらいかかるものやら…。第一、それだけ精密な仕事がやれる技能者が、いまの時世果たして何人いるものか。ここで生産しているパネル材は、もっとも大きい3,640㎜×910㎜のものから最小405㎜×810㎜のものまで、全部で 110種類。これほど小さなパネルを使っているところは、他のメーカーにもちょっと見当らないでしょうね。当社のモットーは「住宅は一生のもの。材料を切り詰めてまで時流に合った商品を造るべきではない」という考え方。だから良質の材料をふんだんに使っています。たとえば断熱材一つにしても、当社が使用しているのはグラスウールではなくJIS製品のロックウール50㎜厚。暖冷の効率、防音効果、防火性能、結露防止などに抜群の威力を発揮します。木材使用量も二重構造を採用しているため、他にくらべてはるかに多いんですよ。

（1㎡当りの木材使用量）

ヨシモトホーム	0.184㎥
在来木造住宅	0.167㎥
一般プレハブ住宅	0.151㎥

（1㎥＝3.594石）

※建設工事標準歩掛（建設物価調査会）より

住まいづくりのポイント

4

念入りな施工

“頑固な職人気質とチームワークのよさ。一棟一棟わが子のように目をかけます。”

工場から現場に材料が運ばれてくると、いよいよ私らの出番。これから100日余りが私ら職人の腕の見せどころです。棟上げまでは工場生産の利点を生かして、それこそアッという間に出来上がりますが、そのあとの造作工事は、やはり長年の経験がモノをいいますね。完成までには仕上下地、面材取付、左官、タイル貼り、塗装、建具…など、職種にして20種類、延300人ほどの専門職が、厳密な工程表にのっとって工事を進めていくわけだけれど、気心がよくわかっている連中でないと、決して仕事はスムーズにいかない。いい仕事をするためには、なんといってもチームワークのよさと職人の気持を大切にする会社の姿勢が一番問題ですよ。ヨシモトホームの場合は直接施工体制をとっているし、現場も1都3県に限定されているので、会社全体のパイプが短く、みんなの呼吸がぴったり合うんですよ。家は地面の上に建てるんだから、その土地の事情をよく知りつくしていなければいい家は出来ないもの。その点私らは現場が目をつぶっていてもわかるところばかりだし、みんな昔ながらの職人気質を誇りにしているような連中ばかりだから、そりゃあお客さまに喜ばれるキメの細かい仕事が出来るわけですよ。

もう一つ現場施工で大切なのは現場の監督。監督さんがどれだけ現場に顔を出し、的確な指示を与え実行させるかによって、良し悪しがきまってくるほど。ヨシモトホームでは検査体制がはっきり確立されていて、地縄張り、基礎、上棟、木工事、工事完了時と、5回にわたり厳しいチェックを繰り返しています。もし工事に間違いでもあろうものなら、壊してでもやり直しをするくらい厳格なもの。まあ当然といえば当然なんだけれど、いまの世の中では、その当然なことすら守れないところが多いんじゃないですか。工場で造られる住宅といえども、現場で作業する職人の質が悪かったり、監督が悪かったら、在来工法と同じようにバラつきが出るもんだということを、お客さまにも知ってもらいたいですね。

住まいづくりのポイント 5

完ぺきなアフターケア

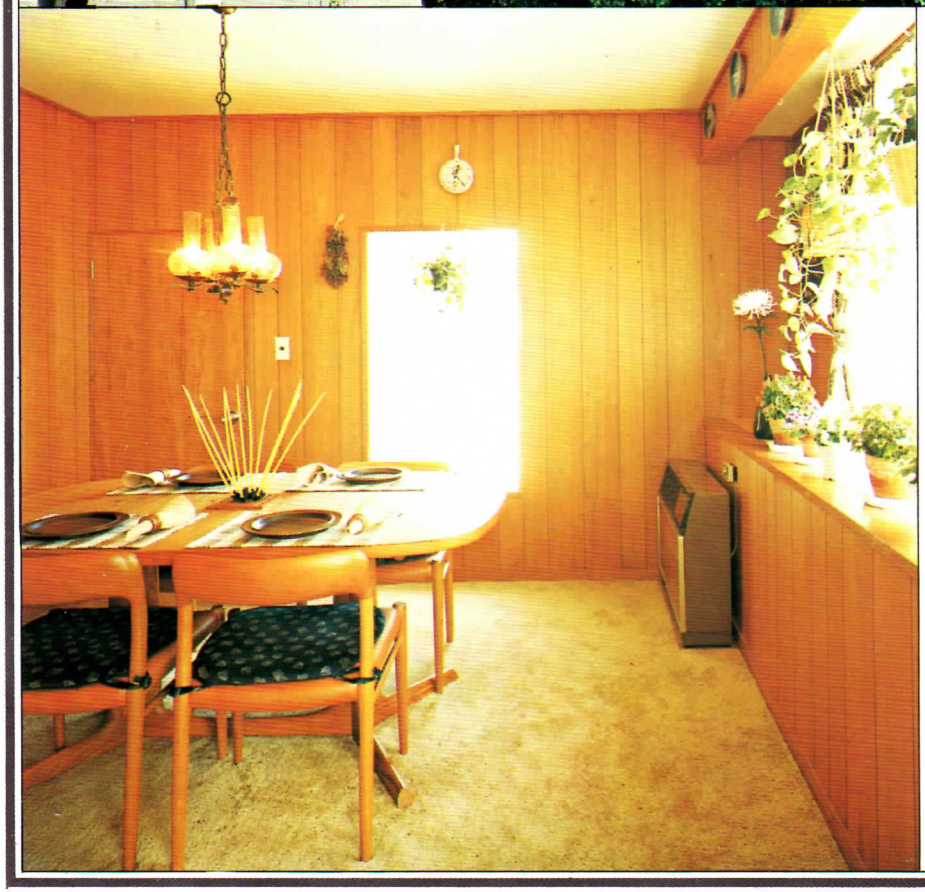
“建てっぱなしなんて考えられない。アフターサービスだって技術の一つですよ。”

住宅のアフターサービスを、システムとか組織の一つとして捕えている人がいますが、これは大きな間違いです。住宅というものは住むほどに成長し、老衰していくもの。つねに手入れを必要とするものだからです。それを建てたときだけ面倒を見るなんて、無責任もはなはだしいと思います。ヨシモトホームでは、手塩にかけたわが子をいつくしむように、お引渡しをしてからのちも何くれとなく面倒を見ることを忘れません。より完ぺきなサービスを期すために、業界に先がけてアフターケアの専門会社を作ったのもそのまごころの表われ。項目ごとに保証期間（最長５年間）を設けて、３カ月目、11カ月目、23カ月目に定期巡回を実施しています。もちろんそれ以外のときでも、ご連絡があり次第駆けつけてただちに処置しますので、いつまでもご安心です。住まいは半永久的なもの。造る側と住む人が一心同体となって協力していけば、必ずいつまでもご満足いただけるはず。お住まいになる方もご自分の住まいに愛着をもち、末長く可愛がってやってください。

アフターサービス保証書

●木更津市　M邸

1階床面積	109.31㎡
2階床面積	39.75㎡
延　面　積	149.06㎡



●川崎市　　T邸

1階床面積	75.36㎡
2階床面積	59.21㎡
延　面　積	134.57㎡

●葉山町　K邸

1階床面積	80.53㎡
2階床面積	52.38㎡
延　面　積	132.91㎡